

令和7年度

台車梁補修<2025 単価>

単価契約仕様書

一般財団法人 札幌市交通事業振興公社
路面電車部 維持管理課 車両係 下里 和希
(電話 011-551-4880)

1 適用

本仕様書は、札幌市の路面電車 200 形、3300 形の台車に使用しているブレーキ梁及び制輪子吊梁の補修に適用するものである。

2 契約期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで

3 受渡場所

北海道札幌市中央区南 21 条西 16 丁目 2-20 電車事業所

4 仕様及び予定数量

- (1) ブレーキ梁 1・・・(図面 1) 予定数量：4 本
- (2) ブレーキ梁 2・・・(図面 1) 予定数量：8 本
- (3) 制輪子吊梁・・・(図面 2) 予定数量：16 本

5 作業内容

上記 4 (1) ～ (3) のピン部 (2 か所) について、肉盛り溶接を行い、各図面の指示通りに削正及び、仕上げを行う。ただし、制輪子吊梁のネジ部(端部より 50mm)は、作業対象外とする。

※ 肉盛り溶接について

溶接方法は、半自動溶接で CO₂ 溶接を行うこと。手順は、予熱 (200° ～250°) を行い、CO₂ 溶接を実施して、後熱 (300° ～350° 、30 分) を行い、保温剤を使用して徐冷すること。なお溶接棒には、「神戸製鋼製 硬化肉盛用ワイヤ DW-H250」もしくは同等品を使用すること。同等品を使用する場合は、事前に委託者と十分に協議すること。

6 その他

- (1) 搬出入を行うこと。作業時は仕上げ面等に傷などを付けぬよう十分に養生をすること。
- (2) 溶接、削正において、割れ・亀裂・捲れ等に十分な注意をすること。
- (3) 作業終了後は速やかに書類を提出するとともに、委託者の確認を得ること。
- (4) 本業務に関し疑義が生じた場合は、委託者と協議し業務履行に遺漏のないようにすること。

7 支払い

支払い手続きは、業務完了後に業務完了届を提出し、委託者が行う完了検査に合格した後、受託者からの請求書に基づき支払う。また、指定した業務ごとに 1 回払いで支払うものとする。

8 提出書類

提出書類名	提出時期	部数	備 考
業務完了届	業務完了時	1	
業務工程写真	〃	1	

※ その他、委託者が必要と認めた書類

業務完了届

年 月 日

一般財団法人札幌市交通事業振興公社
 理 事 長 中田 雅幸 様

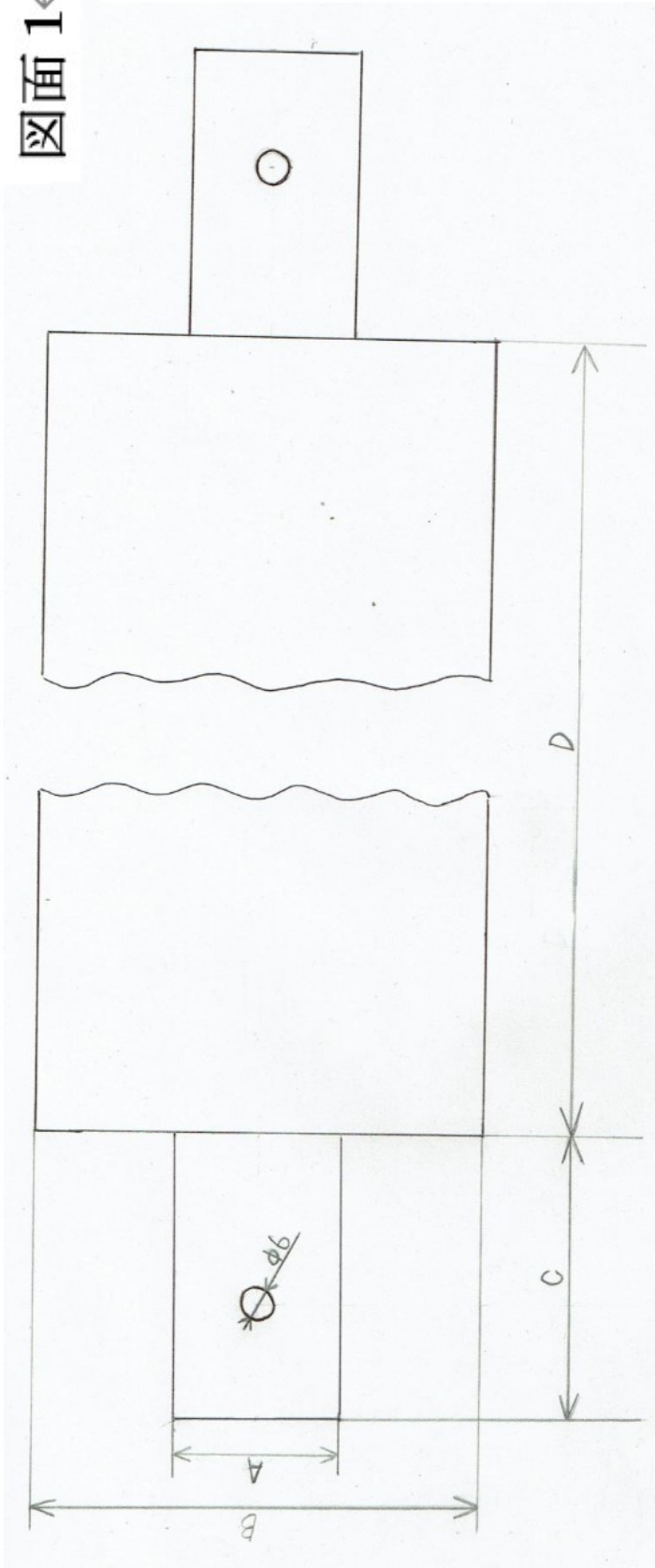
住所
 受託者 会社名
 代表者名

業務名 _____

上記業務は、 年 月 日に完了いたしましたのでお届けします。

受 付	年 月 日			完了を確認した職員 (氏名) 印
課長	係長	主任	係	この業務の完了検査に係る検査員に下記の者を命 じ、 年 月 日に検査を実施してよろしいで しょうか。 検査員
課長	係長	主任	係	業務完了検査報告書
				年 月 日 検査員 印 立会人 印
上記業務の検査結果は、次のとおりであったので報告いたします。				
契 約 金 額	円 (税込)	契 約 年 月 日	年 月 日	
着 手 年 月 日	年 月 日	完 了 年 月 日	年 月 日	
検 査 年 月 日	年 月 日	検 査 結 果	<input type="checkbox"/> 合格 <input type="checkbox"/> 不合格	
備 考				

図面 1←

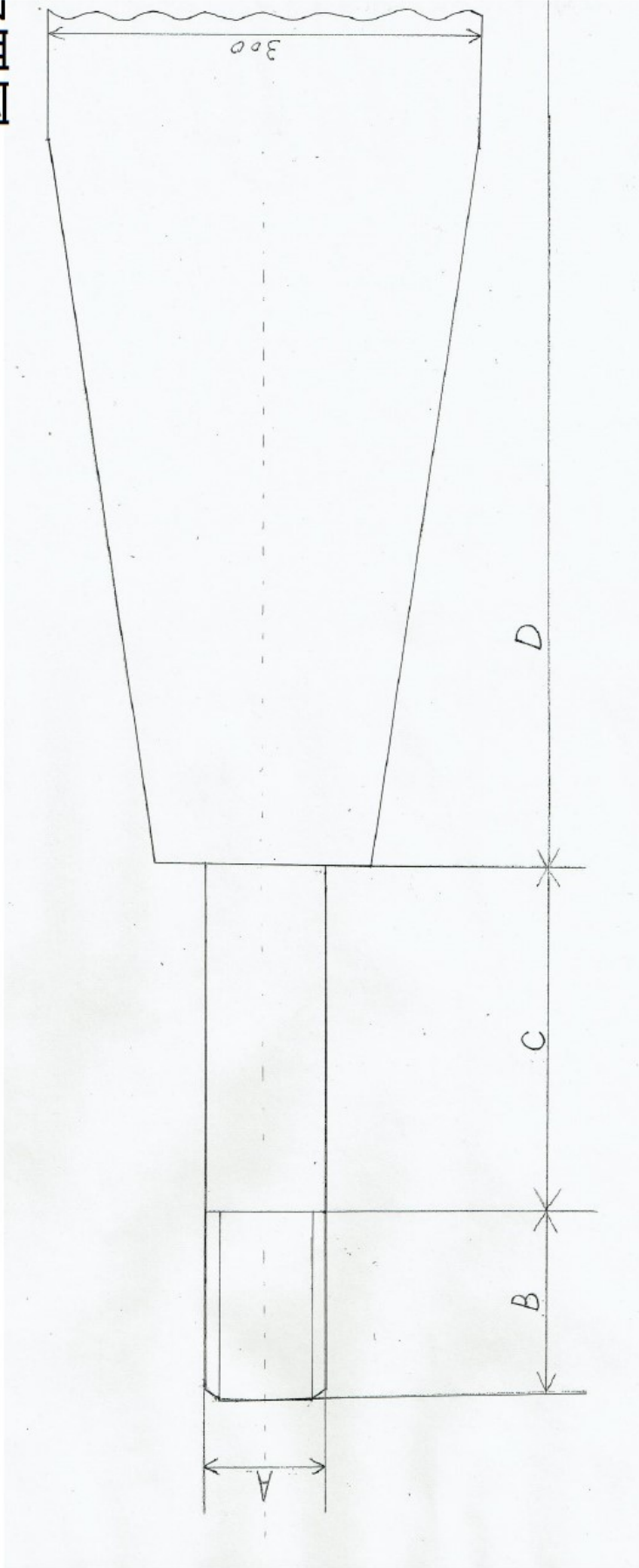


名称	ブレーキ梁1	ブレーキ梁2
A	φ29.5	φ23.5
B	125	100
C	50	45
D	750	720

- ※ C部=ピン部全周の肉盛り溶接を行うこと。(両端部)
仕上げ時の表面粗さ=Ra3.2 とすること。
- ※ D部=t25
- ※ φ6の穴位置は、肉盛り溶接前に測定を行い、
同位置に加工すること。

ブレーキ梁
札幌市交通局

図面2



- ※ B部=肉盛り溶接は行わないこと。
- ※ C部=ピン全周の肉盛り溶接を行うこと。(両端部)
仕上げ時の表面粗さ=Ra3.2 とすること。
- ※ D部=t25

名称	制輪子吊梁
A	φ33.5
B	50
C	90
D	950

制輪子吊梁

札幌市交通局

積算内訳書

仕 様	単 位	数 量	単 価	金 額
ブレーキ梁1	本	4		
ブレーキ梁2	本	8		
制輪子吊梁	本	16		
小 計				
消費税			10%	
合 計				